

害虫を持ち込まない

南極における外来種:

外来種とは、人為的な影響によって本来の生息地域から、元々は生息していなかった地域に侵入した生物のことを指します。外来種の侵入は広範囲に渡り、現在では南極や亜南極諸島でも発生しています。これらの外来種には、微生物、藻類、菌類、維管束植物、無脊椎動物、魚類、鳥類や哺乳類が含まれます。

責任ある訪問者になるための5つのステップ

外来種の侵入は知られていますが、南極は自然のままの環境を比較的維持しています。人間の活動は、外来種を様々な場所へ運ぶ媒介になる危険性があります。大陸を超えて、科学プログラムやツアーオペレーターは、人間が南極に外来種を侵入させる媒介となる危険性を最小限にしています。

注意: ここでいう「訪問者」とは観光客、乗組員、またスタッフに限らず南極に足を踏み入れた全ての関係者を指します。

1 南極に到着する前に- 衣服を徹底的に清潔にし、点検します:
ポケットの縫い目、Velcro® ジックテープ、そしてブーツ底を含むすべての衣類に汚れ、種子やその他の有機物が付着していないかを調べます。

トレッキング、バックパッキング、または農家訪問予定の訪問者は、出発の前に全ての異物を除去するために、カメラの三脚の足を含め、ブーツ、衣類や機材を徹底的に清潔にしなければなりません。

南極到着前には、異物などを除去するためリュックサックやバッグを丁寧にブラッシングし、掃除機で十分に掃除することが不可欠です。

上着や陸上で使用される機材は、徹底的に汚染物質を除去する必要があります。

ほとんどの場合、機材や衣類を洗浄できるブーツ洗浄場の施設があり、利用が可能です。

上陸前に、衣類や機材は徹底的にチェックされます。船舶のスタッフや乗組員がそれを実施することがより好ましいです。



© Lauren Farmer

2 船で上陸する場合ブーツ洗浄場を利用しましょう:

ブーツ洗浄場に必要なもの:

破片やゴミを完全に除去するための流水とホース。できれば高圧力の流水が好ましい;

船舶からの排水;

ブーツや衣類のゴミをこすって洗い落とすための洗浄ブラシおよび粗目のマット、そして浅型のトレー;

ビルコンSのような消毒水とトレーを他にもうひとつ;

徹底した汚染物質の除去を行うために、スタッフや乗組員のメンバーが訪問者のブーツや衣類のチェックのお手伝いをします。

毎回の上陸前後に、上陸予定の全訪問者は、ブーツ洗浄場内を通して、ブーツを消毒し、ゴミ等が付着していないことを確認する必要があります。

ボートの乗組員は、乗客と別の経路で乗船することがありますが、その際にも必ず汚染物質の除去プロセスの完了を確認する必要があります。

舷門（乗降用の舷壁出入り口）や小型ボートが汚れていないことも確認し、注意するようにしてください。

3 上陸したら:

上陸地点を中心に、海鳥糞、アザラシの胎盤、またはアザラシの糞などの有機物が集中しているエリアを歩くことは避けてください。

船舶に戻る前には、ブーツや衣類のゴミを極力すべて洗い流してください。上陸時間が終了し、連絡船に乗船する前には、上陸地点に用意されている洗浄ブラシで洗浄する必要があります。

船に戻る前に、ブラシについたゴミを取り除くことを忘れないでください。

上陸地点を離れる前には、地面に接触したものをすべて（特にリュックサック）、ブーツの折り返し部分、露出したマジックテープなどを丹念に点検し、異物をすべて排除したことを確認してください。訪問者が用心深くなければ、亜南極諸島の種や他の植生は簡単に運ばれてしまいます。

適切な場合に、種子の移動予防措置として、船上でスタッフの衣類のポケットを裏返しにして掃除機でゴミを吸い取ることもあります。

船に戻った際には、必ず、ブーツ、衣類や機材を徹底的に洗浄し、ブーツ洗浄場で消毒してください。消毒剤は洗い流す必要はありませんが、次の上陸までに乾かすようにしてください。

各上陸の終了の際には、小型ボートを点検します。また必要に応じて、現地の移動間で異物が運ばれていないことを確認します。

4 次の上陸まで: 消毒したブーツ、衣類や機材は次の上陸までに完全に乾くようにしなければなりません。（乾燥状態にすることは一部の微生物制御に対して有効な方法といわれています。）

随時行われる上陸前説明において、ブーツや衣類に異物の付着が無く、清潔であることを点検するように訪問者に思い出させることが重要です。

5 害虫の報告と情報の共有

外来種を発見した場合には、すぐにガイドにお知らせください。

その際に得た情報は他の訪問者にも広めてください。みんなで協力して南極の衛生に貢献しましょう。

